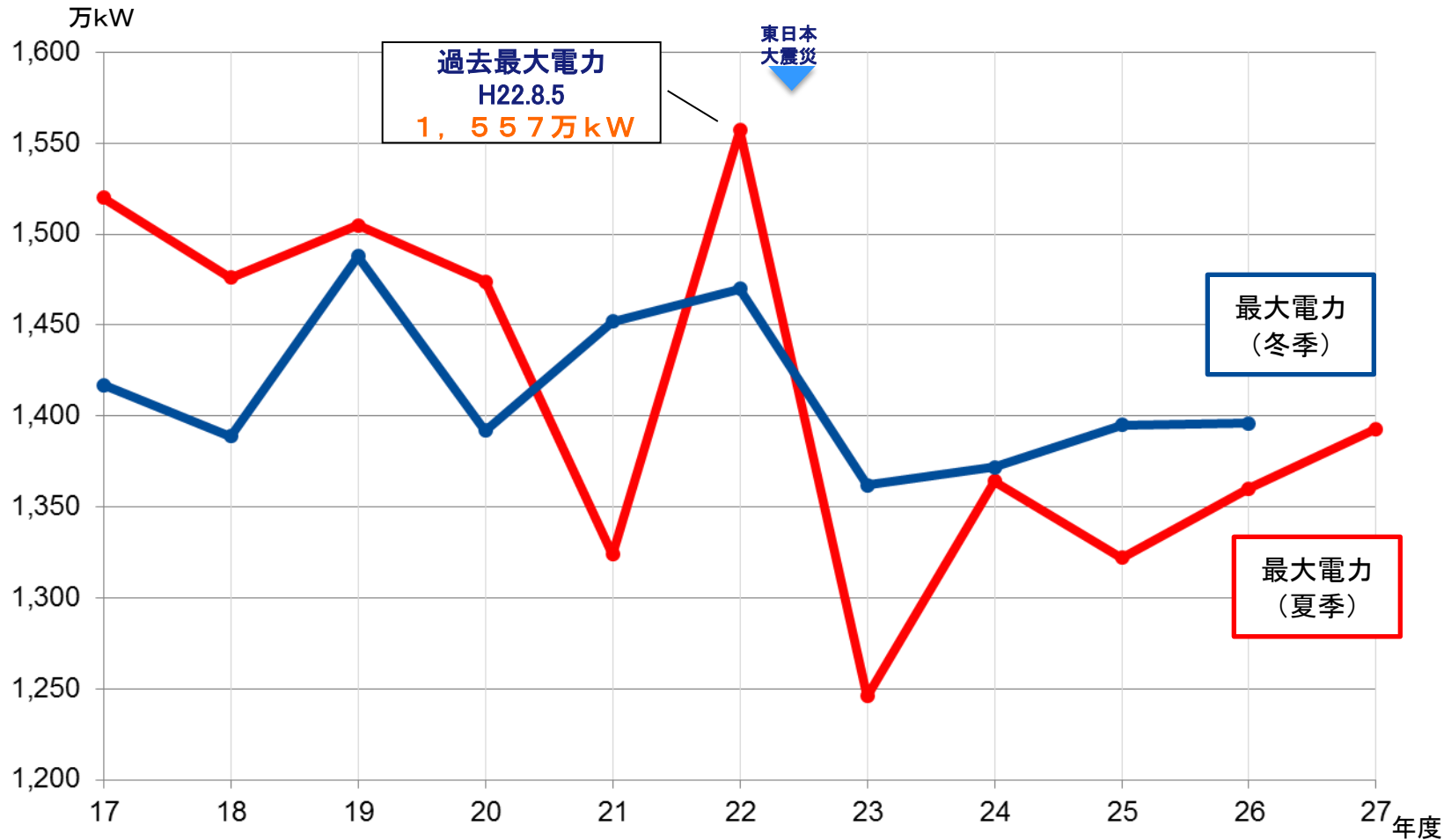


# 冬季需給対策強化期間について

平成27年11月26日  
東北電力株式会社

# 過去の最大電力の推移

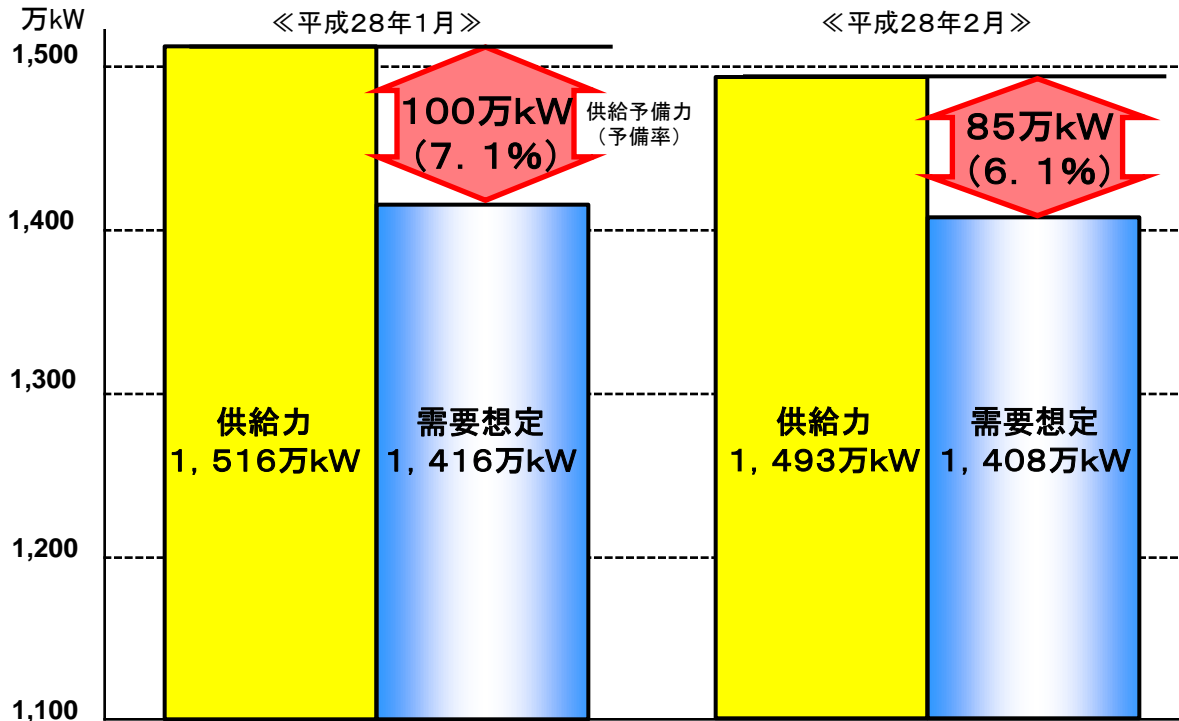
➤ 冬季も、暖房需要により、電力の需要が多い



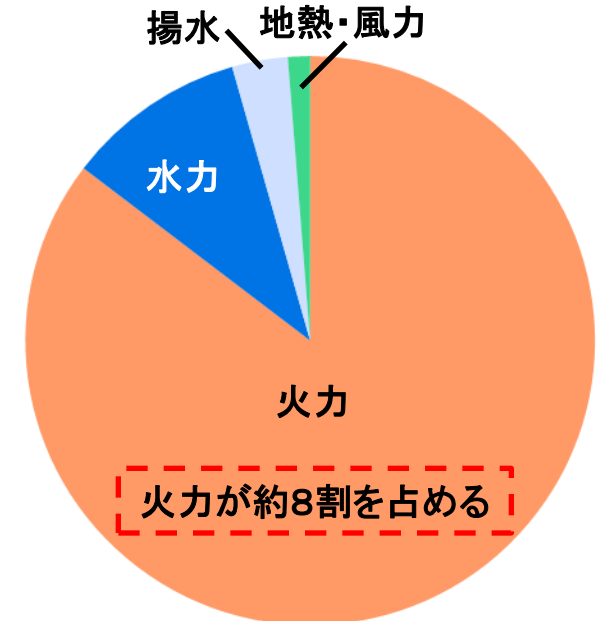
# 今冬の需給見通し

- 平成25年度並みの厳寒となった場合でも、需要のピークとなる1月、2月において、6%以上の予備率を確保できる見通し(10月30日にお知らせ済み)
- 冬季の需要ピーク期に、十分な供給力を確保できるよう、火力発電所の定期点検時期の繰り延べ・調整等を実施
- 新仙台火力3-1号(宮城県仙台市)も営業運転開始に伴い、より安定した電源として、供給力に寄与

## 今冬の需給見通し(平成25年度厳寒並みの気温を考慮)



## 《1月の供給力1,516万kWの内訳》



# 冬季需給対策強化の取り組み

- 想定を超える寒波の到来に伴う需要急増や、予期せぬ電源トラブルによる需給逼迫に備え、当社では平成27年12月1日(火)～平成28年3月31日(木)を冬季需給対策強化期間に設定

## 冬季需給対策強化期間の取り組み

### 《供給面》

- 通常実施しているパトロールに加えた重点パトロールの実施、現場機器の巡視点検強化(火力・地熱・水力)
- 運転データの管理・監視強化による異常兆候の早期発見、早期対応による設備トラブルの未然防止(火力・地熱・水力)
- 安定した燃料受入体制の確立に向け、冬季の悪天候を踏まえた船舶・荷役関係者間の連携を強化(火力)

### 《需要面》

- ホームページにおいて、「東北電力でんき予報」や「効率的な電気のご使用方法」等を掲載
- エネルギーの効率利用を図っていただくため、法人のお客さまを対象に個別コンサルを実施
- 東北電力グループ全体でのオフィスの節電(室内温度を19℃を目安に運用、蛍光灯の間引きなど)

# 冬季における発電所の安定運転に向けた取り組み例

▶ 冬季は一旦機器が凍結すると復旧に時間を要するため、未然防止が重要

## 東新潟火力発電所の例



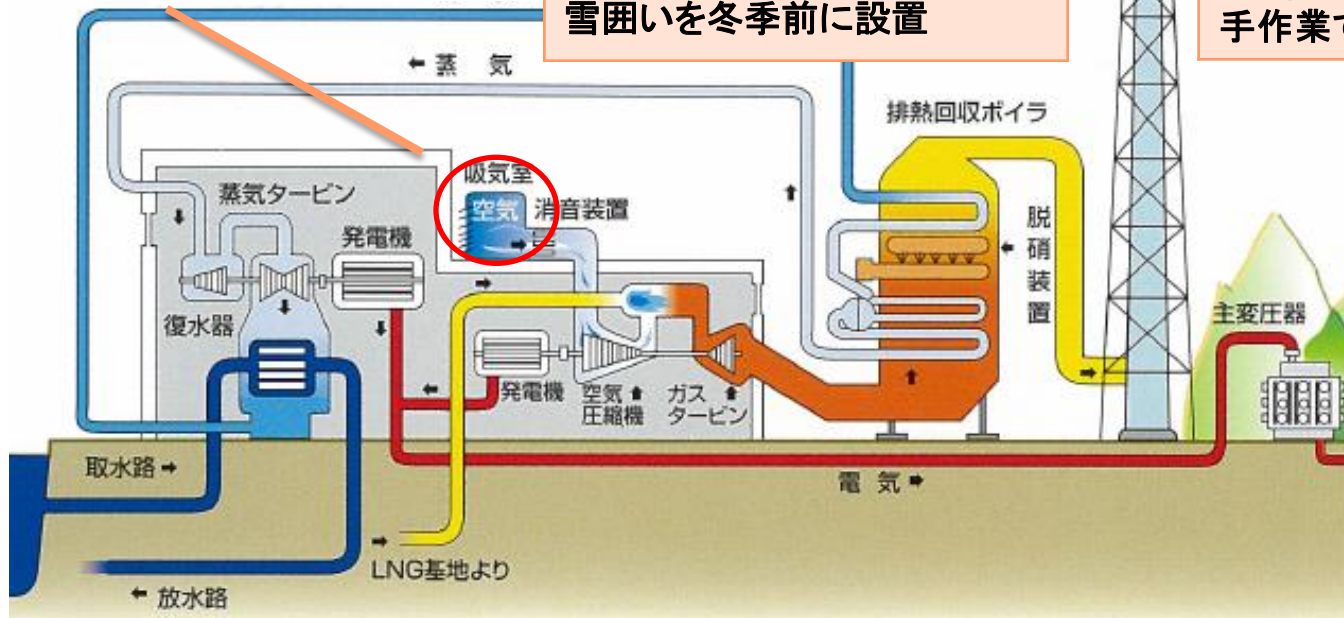
ガスタービンの空気の取り入れ口に雪が付着すると、発電出力に影響



着雪を未然に防止するために、雪囲いを冬季前に設置



パトロールを強化し、着雪を確認した際には速やかにヒーターや手作業で除去



# (参考)過去の最大電力・日電力量の実績

年度	最大電力						日電力量			
	夏季			冬季			夏季		冬季	
	万kW	発生日時	最高気温	万kW	発生日時	日平均気温	万kWh	発生日	万kWh	発生日
27	1,393	H27.8.6 14時台	34.7	-	-	-	26,980	H27.8.6	-	-
26	1,360	H26.8.5 14時台	33.2	1,396	H26.12.17 17時台	- 0.7	26,959	H26.8.5	30,120	H26.12.17
25	1,322	H25.8.19 14時台	32.6	1,395	H26.2.5 17時台	- 4.7	25,802	H25.8.19	30,566	H26.2.5
24	1,364	H24.8.22 14時台	34.8	1,372	H25.1.18 17時台	- 3.8	26,554	H24.8.23	30,126	H25.1.18
23	1,246	H23.8.9 14時台	32.8	1,362	H24.2.2 17時台	- 2.6	24,940	H23.8.10	29,775	H24.1.31
22	1,557 (過去最大)	H22.8.5 14時台	35.0	1,470	H23.1.20 17時台	- 1.5	30,061	H22.8.5	31,253 (過去最高)	H23.1.20